

2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 中枢Ⅱ (神経筋疾患)	授業 形態	講義・ <b>演習</b> ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	月1
担当教員	平間 亮				
授業概要	正常な神経系を復習し、検査の方法を理解します。また神経系が障害されるとどのように心身へ影響を与えるのかも理解します。障害や状態に合わせて理学療法士にできることは何なのか、評価やプログラムを立てる理学療法士の思考について、また御本人や御家族がどう現状を受け止めていくのか学習します。				
学習目標	①神経系の機能を理解する。 ②神経筋疾患になると心身にどのような症状が出るのか理解する。 ③神経筋疾患の評価、プログラムが立案できる。				
回数					担当教員
1回目	神経系の構造と機能について復習(神経、脳の解剖と画像)				平間 亮
2回目	運動・感覚・自律神経について復習①(伝導路と検査)				平間 亮
3回目	運動・感覚・自律神経について復習②(自律神経、脳神経、末梢神経)				平間 亮
4回目	症候と検査(意識障害、植物状態、不随意運動、異常歩行、CT、MRI、麻痺の評価)				平間 亮
5回目	水頭症、多発性硬化症、筋委縮性側索硬化症、褥瘡ケア				平間 亮
6回目	パーキンソン病、パーキンソン症候群(変性・非変性)、ハンチントン病				平間 亮
7回目	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症、皮質性小脳萎縮症、遺伝性)				平間 亮
8回目	筋ジストロフィー、重症筋無力症、ランバートイートン症候群、ギランバレー症候群				平間 亮
9回目	シャルコーマリートゥース病、糖尿病・絞扼・圧迫性ニューロパチー、認知症				平間 亮
10回目	てんかん(部分・全般発作)、脳腫瘍(脳実質外・内腫瘍)、脳性麻痺				平間 亮
11回目	小テスト、まとめ				平間 亮
12回目	脳血管障害: 亜急性期の理学療法プログラムの検討				平間 亮
13回目	脳血管障害: 回復期リハの理学療法プログラムの検討				平間 亮
14回目	脳血管障害: 地域包括ケアの理学療法プログラムの検討				平間 亮
15回目	総復習				平間 亮
教科書及び 参考書	病気がみえるVol.7脳・神経 講義配布資料				
成績評価	定期試験(80%)、小テスト1回(20%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
神経系の疾患のほとんどが完全な完治は難しいです。退院後に社会復帰ができたとしても、なんらかの障害を背負って生活しなければなりません。医療チームの中で患者と関わる時間が長いのは理学療法士です。身体のみならず今後の仕事や趣味などで何を生きがいとしたらいいのかアドバイスを求められることもあります。入院中の病態だけではなく、どのような人生を送るのか理解していきましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
病院を退院しても病気が治るわけではありません。私自身病院の勤務を経てデイサービスや訪問リハビリテーションで働いた経験を活かして、どのように理学療法を進めてきたのかをお伝えします。また、病気と向き合う本人と家族、サポートする医療や介護体制についての現状についても伝えます。					

2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	検査・測定法 V	授業形態	講義 <b>演習</b> ・実習	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	月曜 2限
担当教員	村田 薫克				
授業概要	本授業では、理学療法評価から問題点を統合し解釈できるように進めていきます。今までの検査測定法のまとめであり、治療へつなげる大切な臨床推論となります。なぜ、ADLやQOLが問題となるのかを、能力評価、機能評価から導き出せるようないろいろな考え方を学びましょう。そして、臨床実習で評価する意味をしっかりとわかるよう学びましょう。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法評価を理解する。</li> <li>・問題点を抽出することができる。</li> <li>・臨床推論とは何かを理解することができる。</li> <li>・問題点を総合し解釈することができる。</li> </ul>				
回数					担当教員
1回目	はじめに：症例レポートの書き方、統合と解釈・臨床推論とは				村田 薫克
2回目	レポートの作成方法(評価から治療まで)①				村田 薫克
3回目	レポートの作成方法(評価から治療まで)②				村田 薫克
4回目	レポートの作成方法(評価から治療まで)③				村田 薫克
5回目	病態の把握、患者情報と画像所見のチェック、動画のチェック、樹形図の作成①				村田 薫克
6回目	病態の把握、患者情報と画像所見のチェック、動画のチェック、樹形図の作成②				村田 薫克
7回目	病態の把握、患者情報と画像所見のチェック、動画のチェック、樹形図の作成③				村田 薫克
8回目	病態の把握、患者情報と画像所見のチェック、動画のチェック、樹形図の作成④				村田 薫克
9回目	クリニカルリーズニングの実際①(評価のまとめから問題点の抽出)				村田 薫克
10回目	クリニカルリーズニングの実際②(評価のまとめから問題点の抽出)				村田 薫克
11回目	クリニカルリーズニングの実際③(評価のまとめから問題点の抽出)				村田 薫克
12回目	クリニカルリーズニングの実際④(評価のまとめから問題点の抽出)				村田 薫克
13回目	ICFの作成、ポートフォリオへのまとめ①				村田 薫克
14回目	ICFの作成、ポートフォリオへのまとめ②				村田 薫克
15回目	まとめ 復習				村田 薫克
教科書及び参考書	基礎から確認PT臨床実習チェックリスト、配布プリント				
成績評価	課題提出(樹形図等)80%、病態レポート(20%)、出席(欠席1回3点減点、遅刻1点減点) なお、授業態度において問題となる行動は減点になる場合があります。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
臨床推論は非常に難しく今でも私自身悩むことが多くあります。障害の問題点を、多くの客観的評価から何が一番問題となっているのかを導き出すためには、多くの知識が必要となります。実習に行った学生は、皆声をそろえて問題点の統合と解釈が難しく、臨床推論を繰り返すことが本当に大変だと話しています。少しでも実習が充実したものになるよう、1年生から学校で学んだ基礎知識を総動員し、問題点を少しでも理解し抽出できるよう頑張りましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
私は急性期病院で10年間働き、その後も整形外科クリニックで臨床を10年以上経験しています。しかし、いまだに何が治療として正解なのかは難しく、多くの答えがあるのも理学療法だと思っています。悩むにも知識がないと十分考えることはできずいまだに日々勉強だと思っています。将来自分の治療に自信が持てる理学療法士になれるよう、今から臨床推論の思考過程を鍛えていきましょう。					

ソーシャルワーク演習Ⅲ(3241)	大兼健寛	併修科目・必修
		PT・OT3年
		月曜3限

授業のねらい	ソーシャルワーク演習Ⅲは、「ソーシャルワークの実践」という位置づけとなり、これまでのソーシャルワーク演習Ⅰおよびソーシャルワーク演習Ⅱにおいて学習した内容を踏まえ、それらの知識と実践技術を事例を通じてより実践的に活用し、総合的、また横断的な理解の促進を図る。
--------	---

教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。
--------	---

設 題	レポート 1 (ポイント)	総合的・包括的な支援の意義と方法について述べよ。 個人、集団、地域を対象とした事例を踏まえて、多様な支援対象者への専門知識・技術の適応方法について整理する。	下書	
	レポート 2 (ポイント)		清書	6月10日(月)授業内
	科目終了試験	学修のポイント・1 個人に対するソーシャルワーク実践について 学修のポイント・2 集団に対するソーシャルワーク実践について 学修のポイント・5 災害被災者への支援について		科目終了試験 7月23日(火) 実施予定
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション、総合的・包括的な支援の意義
2	総合的・包括的な支援の方法①
3	総合的・包括的な支援の方法②
4	総合的・包括的な支援の方法③
5	総合的・包括的な支援における知識・技術
6	清書レポート作成
7	学修のポイント・1 個人に対するソーシャルワーク実践について
8	1200字レポートレポート作成・締切
9	学修のポイント・2 集団に対するソーシャルワーク実践について
10	1200字レポートレポート作成・締切
11	学修のポイント・5 災害被災者への支援について
12	1200字レポートレポート作成・締切
13	「実践」とは何か
14	科目終了試験対策
15	「ソーシャルワーク演習Ⅲ(3240)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末試験

成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。欠席は-10点、遅刻は-3点。
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式
	授業内評価	20点 レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることであれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

<h1 style="margin: 0;">地域福祉論(2033)</h1>	<h2 style="margin: 0;">柘植 将介</h2>	併修科目・必修
		PTOT3年
		月曜4限

授業のねらい	地域福祉の基本的な考え方について学ぶ。 地域の社会資源の理解と活用方法を理解する。 地域福祉に関わる組織や機関について理解する。
--------	--

教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。
--------	---

設 題	レポート 1	地域における福祉以外の分野との機関協働のあり方について、実際に行われている先駆的な取り組みを1つ事例として取り上げ、その取り組みが地方創生や地域福祉の推進に及ぼしている影響について考察しなさい。	清書	6月3日(月)提出
	(ポイント)	「地域福祉ガバナンス」の考え方や、「社会資源」のとらえ方について簡潔に触れた上で、「地域福祉以外の分野との機関協働」がなぜ重要なのかについてまとめること。その上で事例を1つ取り上げその事例の取組が地域に与える影響について、良い点と課題になっている点の両面から考察すること。		
	レポート 2	災害時に活用される法制度の概要と、被災者のニーズおよび平時からの支援体制のあり方について述べよ。	清書	7月1日(月)提出
	(ポイント)	「災害救助法」「災害対策基本法」等について、「災害時要配慮者支援」や「福祉避難所」を含めてまとめること。その上で、時間の経過とともに変化する被災者のニーズへの変化や、平時からの支援体制構築のための具体的な方法について、あなた自身の経験や考えも交えながらまとめること。		
	科目終了試験	学修のポイント・地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について 学修のポイント・地域福祉の推進主体について 学修のポイント・地方行政における地方公共団体の役割と社会福祉の実施体制について		科目終了試験7月23日(火)実施予定
期末試験・スクーリング後試験	詳細は、後日発表			

1	オリエンテーション 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題 1
2	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題 2 (学修ポイント)
3	地域福祉の推進主体について (学修ポイント)
4	地域福祉の推進主体について (学修ポイント)
5	地域福祉ガバナンスと多機関協働 1
6	地域福祉ガバナンスと多機関協働 2
7	レポート作成
8	災害時における総合的かつ包括的な支援体制 I
9	災害時における総合的かつ包括的な支援体制 II
10	レポート作成
11	地方行政における地方公共団体の役割と社会福祉の実施体制について (学修ポイント)
12	地方行政における地方公共団体の役割と社会福祉の実施体制について (学修ポイント)
13	地域福祉の考え方、歴史、動向
14	科目終了試験まとめ
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早めに提出をすることを心がけてください。 レポート・学修のポイントのメ契は厳守すること。期限を守れなかった者は、授業内評価を減点する。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。
----	---

2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 中枢Ⅰ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT学科・3年次
				曜日・時限	火曜日・1限
担当教員	片寄純一				
授業概要	近年の脳画像解析の進歩で脳の機能がより理解できるようになり、神経学的評価と脳画像を基にした脳の評価を行うことで脳血管障害の予後予測(未来)を知り患者の状況がわかるようになってきています。このことにより、より効率的かつ的確な理学療法を可能にしている。この授業では、中枢神経の解剖生理学を復習し、脳血管障害の病態を確認することで、理学療法士が行う評価について理解し、論理的かつ科学的な治療につなげることを目的とするこの治療の学習をする。例えば、理学療法もボツリヌス治療を用い痙縮を抑え、下肢装具を用いた歩行練習を行うことで実用性の高い歩行能力の獲得するなど新しい治療法についても学習する。				
学習目標	1.脳血管障害理学療法に求められる解剖生理学の知識を習得する。 2.脳血管障害の病態について理解する。 3.脳画像を含めた脳血管障害理学療法における評価について理解する。 4.臨床で行われている脳血管障害理学療法の治療について理解する。				
回数					担当教員
1回目	脳卒中の障害総論：中枢神経系の構造と機能				片寄純一
2回目	脳卒中の障害総論：神経ネットワークと高次脳機能障害				片寄純一
3回目	脳卒中の障害総論：脳卒中の病態とリスク管理				片寄純一
4回目	脳卒中の障害総論：脳画像と各種経路の把握				片寄純一
5回目	脳卒中の障害総論：脳卒中の回復メカニズム				片寄純一
6回目	脳卒中の障害総論：脳卒中の障害構造				片寄純一
7回目	脳卒中の障害と理学療法：意識障害				片寄純一
8回目	脳卒中の障害と理学療法：運動麻痺				片寄純一
9回目	脳卒中の障害と理学療法：感覚障害				片寄純一
10回目	脳卒中の障害と理学療法：異常筋緊張				片寄純一
11回目	脳卒中の障害と理学療法：二次的機能障害(関節可動域制限など)				片寄純一
12回目	脳卒中の障害と理学療法：姿勢定位障害・姿勢バランス障害				片寄純一
13回目	脳卒中の障害と理学療法：起居動作障害・歩行障害				片寄純一
14回目	脳卒中の障害と理学療法：上肢機能障害				片寄純一
15回目	まとめ				片寄純一
教科書及び参考書	標準理学療法学 神経理学療法学 第3版：医学書院、病気が見える脳・神経 第2版				
成績評価	定期テスト(80%)、授業態度(20%)、欠席1回3点減、遅刻1回1点減				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸暗記よりも理解しながら覚えていくことが重要。理解できないところはいつでも質問を受け付ける。</li> <li>・中枢神経系の解剖生理学と脳血管障害の病態に伴う評価・治療を理解し、実習・国家試験につながるようにする。</li> <li>・復習を怠ると、授業についていけないようになるため、学習時間を各自で必ず確保すること。</li> <li>・テキストや配布資料のみでなく、授業中の話からもテスト出題の可能性はあるため、必要に応じてメモを取ることを推奨する。(授業の録音は禁止する)</li> <li>・再試験問題は本試験問題とは全面的に異なるため、本試験で合格するよう努力すること。</li> </ul>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
主に回復期リハビリテーション病棟で脳卒中患者の理学療法を実施してきました。その他、外来リハビリ、急性期リハビリ(ICU含む)、通所リハビリ、訪問リハビリ、老健、教員などの経験があります。現在は上記回復期での勤務のため、基礎的理論の復習を行いながら、実際の理学療法の知見を交え授業を行っていきます。					

2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	理学療法概論(研究法) I	授業形態	講義 演習 実習	学科・年次	PT・3年次
				曜日・時限	火・2限 水・1限 金・4限
担当教員	村田 薫克、水野 靖廣、後藤 洋平、平間 亮、平澤 勉、笠原 靖子 (PT専任教員)				
授業概要	研究の大切さを把握し、研究の進め方、研究上の常識、ルール等を習得することができるようになります。研究を行う事は、臨床で患者様についてどのように治療していくのかを考える事と同じような過程で進めていきます。いろいろな角度から物事を自由に考え、問題発見、問題解決できる思考過程を促しましょう。				
学習目標	1. 研究の必要性について理解することができる。 2. 文献検索をすることができる。 3. 研究計画書を作成することができる。				
回数					担当教員
1回目	研究とは、授業予定(研究に必要な基礎的な知識を学びましょう)				笠原
2回目	文献検索(研究目的の作成)				笠原
3回目	研究内容の決定(研究の意義・クリニカルクエスチョンの決定)				PT専任教員
4回目	研究内容の決定(研究デザイン:どのように研究を実施するのか①)				PT専任教員
5回目	研究内容の決定(研究デザイン:どのように研究を実施するのか②)				PT専任教員
6回目	研究内容の決定(対象者・選択基準の選定)				PT専任教員
7回目	研究内容の決定(評価・観察因子の決定:何を測定するのか決める)				PT専任教員
8回目	研究内容の決定(統計方法の選定:データをどのように解析するか)				PT専任教員
9回目	研究内容の決定(統計方法の選定:データをどのように解析するか)				PT専任教員
10回目	研究計画作成(デモ実験の実施①)				PT専任教員
11回目	研究計画書発表会(発表会資料作成)				PT専任教員
12回目	研究計画書発表会①				PT専任教員
13回目	研究計画書発表会②				PT専任教員
14回目	研究計画書の修正と実験内容の修正①:文献検索やプレ実験の実施				PT専任教員
15回目	研究計画書の修正と実験内容の修正②:プレ実験による実験方法の修正と本実験の準備				PT専任教員
教科書及び参考書	標準理学療法学 理学療法研究法 配布資料(随時)				
成績評価	発表会:50%、研究計画書、レポートを含む提出物:40% 態度:10%(授業中の質問なども加点に加える場合があります) また、欠席1回3点、遅刻1回1点減点します。配布資料を忘れた場合も減点の対象とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に研究をすることで、研究の面白さを体験してください。</li> <li>・本校にあります3次元動作解析装置、超音波診断装置、筋電図、呼気ガス分析器など最新機器を用い実験を行います。</li> <li>・最近、卒業後での施設でも研究発表が一般的に行われるようになってきました。今のうちに、最新鋭の機器を使うようになると就職先でも仕事が有利に進めることができると考えます。</li> <li>・全員で協力して一つの研究発表を作り上げましょう。</li> </ul>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>村田:理学療法の分野でも自分が研究したことを世の中に出していくことは非常に大切な経験と財産になります。簡略化されている部分もありますが、伝える方法を少しでも学べるようにしていきますので頑張って授業を進めていきましょう。</p> <p>水野:研究をすることによって理学療法の難しさ、奥深さ、何より面白さを体験することが出来ます。基本的にはグループで協力し合い実施していきますので、身勝手な行動は控え全員で助け合って一つの成果物を仕上げましょう。</p> <p>後藤:臨床だと、疑問も多く、文献を散見する機会は多くあります。自分自身で疑問に対し知識を深めていくことは理学療法士として必要な能力であり、論理だてて学会発表や文献に起こすことで後世に残るものとなります。一緒にしっかり学びましょう。</p> <p>笠原:研究は、身近ななぜ?どうして?どうなるのか?など興味や疑問に思った事をグループで考えます。結果のみでなく、1つの事を成し得る達成感・充実感の大切さを学ぶように授業を行います。</p> <p>平間:2年時に上級生の研究を見学しておりますのでイメージがしやすいと思います。当時に上級生も幾多の困難を乗り越えていました。担当になる教員と相談し、グループ間でも協力して経験を積み重ねていきましょう。</p>					

2024年度 前後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	理学療法概論 研究法 II	授業形態	講義 (演習)・実習	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	火・2限 水・1限 金・4限
担当教員	村田 薫克、水野 靖廣、後藤 洋平、平間 亮、平澤 勉、笠原 靖子 (PT専任教員)				
授業概要	研究の大切さを把握し、研究の進め方、研究上の常識、ルール等を習得することができるようになります。研究を行う事は、臨床で患者様についてどのように治療していくのかを考える事と同じような過程で進めていきます。いろいろな角度から物事を自由に考え、問題発見、問題解決できる思考過程を促しましょう。				
学習目標	1.研究計画書の修正をすることができる。 2.実験に対して安全性やリスク管理を考慮して実施することができる。 3.実験結果から成果の集積、分析・考察をすることができる。 4.仮説の立証から研究報告書の作成・プレゼンテーションができる。				
回数					担当教員
1回目	研究の実施①				PT専任教員
2回目	研究の実施②				PT専任教員
3回目	研究の実施③				PT専任教員
4回目	研究の実施④				PT専任教員
5回目	研究の実施⑤				PT専任教員
6回目	研究の実施⑥				PT専任教員
7回目	研究結果の集積①: 研究結果の集積からデータ抽出				PT専任教員
8回目	研究結果の集積②: データ抽出からの統計解析1				PT専任教員
9回目	研究結果の集積③: データ抽出からの統計解析2				PT専任教員
10回目	発表用レジメ及びスライドの作成①: レジメ・スライドの作成①				PT専任教員
11回目	発表用レジメ及びスライドの作成②: レジメ・スライドの作成②				PT専任教員
12回目	発表用レジメ及びスライドの作成③: プレ発表の実施と修正				PT専任教員
13回目	発表用レジメ及びスライドの作成④: プレ発表後の修正と最終完成				PT専任教員
14回目	研究結果発表会①				PT専任教員
15回目	研究結果発表会②				PT専任教員
教科書及び参考書	標準理学療法学 理学療法研究法 配布資料(随時)				
成績評価	発表会、レポート:60%、研究結果報告、途中経過の提出:30%、態度:10% 授業中の質問なども加点に加える場合があります また、欠席1回 3点、遅刻1回 1点減点します。配布資料を忘れた場合も減点の対象とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に研究をすることで、研究の面白さを体験してください。</li> <li>・本校にあります3次元動作解析装置、超音波診断装置、筋電図、呼気ガス分析器など最新機器を用い実験を行います。</li> <li>・最近では、卒業後どの施設でも研究発表が一般的に行われるようになってきました。今のうちに、最新鋭の機器を使えるようになると就職先でも仕事が有利に進めることができると考えます。</li> <li>・全員で協力して一つの研究発表を作り上げましょう。</li> </ul>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>研究をすることによって理学療法の難しさ、奥深さ、何より面白さを体験することが出来ます。また、勉強や臨床で明らかにされていないことを自分自身で追求していくことができます。実際に行う際に躓いてどうしてよいかわからないことがあると思いますが、方法論も含めて1つの完成形にしていきましょう。基本的にはグループで協力し合い実施していきますので、身勝手な行動は控え全員で助け合って一つの成果物を仕上げましょう。</p>					

2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	動作分析学Ⅱ	授業形態	講義 <b>演習</b> 実習	学科・年次	PT・3年次
				曜日・時限	火曜・3限
担当教員	後藤 洋平				
授業概要	正常な動作の発生や方法を学び、運動学・運動力学的に理解をして実際の患者さんの動作を動画や実際にやりながら、学んで頭の中で理解されていることと結び付けることで表出できるようにする。正常歩行、段差昇降、ベッド上の寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗を中心に行う。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正常歩行についてのメカニズムを理解し、正常歩行をまとめることができる。</li> <li>2. 異常動作について正常から逸脱したことを表出できる。</li> <li>3. 動作を分析して理学療法評価や治療を考察することができる。</li> </ol>				
回数					担当教員
1回目	臨床における動作分析について				後藤 洋平
2回目	正常歩行の復習① ヒトの歩容の生理学				後藤 洋平
3回目	正常歩行の復習② 歩行周期と各相について				後藤 洋平
4回目	正常歩行の復習③ ロコモーターの4つの機能				後藤 洋平
5回目	小テスト①: 出題範囲1～4回目				後藤 洋平
6回目	異常歩行の動作観察① 動作観察から仮説まで				後藤 洋平
7回目	異常歩行の動作観察② 仮説から必要な評価・問題点の抽出 統合と解釈				後藤 洋平
8回目	変形性股関節症の歩行を観察① 仮説を立て、実際の模擬評価を実施する				後藤 洋平
9回目	変形性股関節症の歩行を観察② 問題点の抽出から統合と解釈を実施する				後藤 洋平
10回目	変形性膝関節症の歩行観察① 動作観察から仮説を立て、問題点の抽出				後藤 洋平
11回目	小テスト②: 出題範囲6～10回目				後藤 洋平
12回目	脳血管障害の歩行観察① 脳血管障害の概要の復習				後藤 洋平
13回目	脳血管障害の歩行観察① 仮説を立て、模擬評価の実施				後藤 洋平
14回目	脳血管障害の歩行観察① 問題点の抽出と統合と解釈				後藤 洋平
15回目	小テスト③: 出題範囲12～14回				後藤 洋平
教科書及び参考書	観察による歩行分析 授業資料				
成績評価	本試験(70%) 小テスト(30%) 出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減) 授業中の発言による加点あり				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>動作分析は運動学Ⅰ・Ⅱや日常生活動作などで学んだことが、なぜ起きているのかという学習になります。また臨床の理学療法士が評価項目を選定している方法には、疾患に対する評価項目、動作からみでの評価項目に二分されます。3年生の皆さんがこれから先に行われる評価実習の中でも必須の思考になります。講義中に疑問だと思ったことは積極的に解決していきましょう。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>理学療法士は動作分析のスペシャリストです。理解すれば実習中の先生方が同じように患者さんを観察していても、そこから得られる情報に差がある理由がわかります。その思考は様々な疾患だけでなく、小児疾患やアスリートリハビリでも応用できます。また臨床に出ても必要な評価項目を厳選でき、患者さんの負担は軽減し、治療時間を確保できます。さらには治療効果の判定にも有効活用できます。動作分析する思考を身につけましょう。</p>					



2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	人間発達学	授業形態	講義	学科・年次	PT・3年
			演習・実習		曜日・時限
担当教員	平間 亮				
授業概要	前半は正常な発達過程を学習し、中盤には反射や反応を含めての発達過程の理解を深めます。後半には社会でどのように健康診査などで反映されているのか、食事では物を呑み込む際にどのようにするのか、もしそれが欠けてしまうとどうなるのかを高齢者の場合も踏まえて学習していきます。				
学習目標	正常発達過程から出現する反射や反応を学び、それらが消失していくことでできるようになることを理解する。例えるなら、出されたものを握ってしまう反応がなくなることで手を使えるようになる。向いたほうへ手を伸ばしてしまう反応がなくなることで寝返りがうてる。理解を深めて本授業の試験、国家試験での高得点獲得を目指す。				
回数					担当教員
1回目	人間発達期の区分(受精～人生を終えるまでの流れとそれぞれの特徴)				平間 亮
2回目	生後0～6カ月(寝返り、寝返り、座位ができるようになるまで)				平間 亮
3回目	生後7～10カ月(腹這い移動、起き上がり、立ち上がりができるようになるまで)				平間 亮
4回目	生後11～4歳(伝い歩き、歩行、立ち上がりができるようになるまで)				平間 亮
5回目	生後6カ月～4歳の生活動作(食事、更衣、排泄、遊び)				平間 亮
6回目	小テスト、まとめ①				平間 亮
7回目	小児の反射・反応の出現・消失(脊髄と脳幹)				平間 亮
8回目	小児の反射・反応の出現・消失(中脳と大脳皮質)				平間 亮
9回目	病的反射				平間 亮
10回目	発達過程と小児の反射・反応の照らし合わせ				平間 亮
11回目	小テスト、まとめ②				平間 亮
12回目	発達の評価(1カ月・3～4カ月・6～7カ月・9～10カ月・1歳6カ月・5歳児健診)				平間 亮
13回目	摂食嚥下(哺乳、食事、嚥下、誤嚥、スプーンの握り方)				平間 亮
14回目	検査(遠城寺式乳幼児分析的発達・デンバー式発達スクリーニング)				平間 亮
15回目	総復習				平間 亮
教科書及び参考書	Crosslink basic リハビリテーションテキスト 人間発達学 講義配布資料				
成績評価	定期試験(80%)、小テスト(20%) 出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>正常な歩行を学んで異常歩行に気が付けるように、正常な人間の発達を知らずして人間の異常に気が付くことはできません。子供の領域に限らず人の生涯にも考えを波及していきます。ただ単に暗記するだけではなく、なぜ成長過程で反射がみられるのか、また消失するのか。どのように食べ物を呑み込めるようになり、加齢とともにそれができなくなってしまうのか。国家試験にも出題されますので知識を深めましょう。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>幼児期の骨折、白血病などの難病を病院や訪問リハビリで経験しました。成長過程にある骨の特徴や正常な発達過程の知識が重要です。またリハビリの対象者が幼い場合は保護者への説明が同意が必須となります。ご家族の育児状況や生活へ影響への理解も信頼関係を深める上では非常に重要となります。覚える量も膨大なため、記憶に定着しやすいよう覚え方のポイント、語呂合わせなども行ってまいります。</p>					

権利擁護と成年後見(3191)		吉安功一		併修科目・必修	
				PTOT3年	
				水曜3限	
授業のねらい	日常的に何らかの援助を必要とする人々に接することが多い専門職として、鋭い人権感覚を身につけておくことは重要である。相談援助と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む)との関わり、成年後見制度(後見人等の役割を含む)、日常生活自立支援事業について学修する。そして、社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート1	ソーシャルワーカーとして成年後見活動を行う上での留意点について権利擁護の視点から具体的に述べよ。	下書	5月29日	
	(ポイント)	社会福祉士、精神保健福祉士が成年後見活動を行う上で、「身上監護」を中核に位置づけていくことが課題となる。権利擁護の具現化としての成年後見制度の位置づけと、ソーシャルワーカーとして後見活動を考察すること。	清書		
	科目終了試験	学修のポイント1 法定後見制度について 学修のポイント4 成年後見制度の最近の動向と課題について 学修のポイント6 権利擁護にかかわる組織・団体について	7月17日		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	オリエンテーション				
2	レポート対策(相談援助の活動と法)				
3	レポート対策(成年後見制度:成年後見、保佐・補助の概要、申立て)				
4	レポート対策(成年後見制度:成年後見制度の義務と責任、動向について)				
5	レポート対策(成年後見制度:SWと権利擁護、日常生活自立支援事業について)				
6	レポート対策(レポート清書作成)				
7	学修のポイント1対策(法定後見制度について)				
8	学修のポイント1対策(法定後見制度について)				
9	学修のポイント4対策(成年後見制度の最近の動向と課題について)				
10	学修のポイント4対策(成年後見制度の最近の動向と課題について)				
11	学修のポイント6対策(権利擁護にかかわる組織・団体について)				
12	学修のポイント6対策(権利擁護にかかわる組織・団体について)				
13	対象種別・対策領域に応じた権利擁護活動の実際 ※事例を通じて				
14	科目終了試験対策				
15	科目終了試験				
	期末試験				
成績 評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学修のポイントのメッチは厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

社会福祉運営管理論(2502)		吉安 功一		併修科目・必修	
				PTOT3年	
				水曜4限	
授業のねらい	今日、地域社会においては福祉サービスに対する様々なニーズが存在し、また新たなニーズも生まれている。こうした多種多様なニーズに対しては現場職員の個人的スキル任せでは到底対応できるはずがなく、同じ理念を持つ人々が結集して組織を作り、そこにヒト、モノ、カネ、情報などの経営資源を結集し、調整し、配分し、多くのニーズに 대응していくこと、すなわち経営管理というものが要求されてくる。したがって今日では、地域社会の福祉サービスの実践にとっては福祉サービスを提供する組織とそこにおける経営管理の在り方について理解し、福祉サービスの経営管理を「利用者を取り巻く環境とのかかわりあいを通しての間接的な社会福祉援助技術の実践」という位置づけで理解・学修していく。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート1	福祉サービスにおける組織と経営について述べよ	下書	5月29日	
	(ポイント)	福祉サービスとは何か、組織とは何か、経営とは何かの概念整理をすること。民間企業も含めたさまざまな主体の参入と規制緩和が進むこととなったが、新たな時代における福祉サービスの組織とその新たな視点からの必要性を考察する。	清書		
	科目終了試験	学修のポイント③ 福祉分野におけるサービスマネジメントについて	7月17日		
		学修のポイント④ 福祉サービスにおける苦情対応とリスクマネジメントについて			
	学修のポイント⑤ 福祉サービスにおける人材の評価について				
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	オリエンテーション ・ 福祉サービスにおける組織と経営 (はじめに)				
2	レポート対策 福祉サービスにおける組織と経営①				
3	レポート対策 福祉サービスにおける組織と経営②				
4	レポート対策 福祉サービスにおける組織と経営③				
5	レポート対策 福祉サービスにおける組織と経営④				
6	レポート対策 レポート清書作成				
7	学修のポイント③ 福祉分野におけるサービスマネジメントについて				
8	学修のポイント③ 福祉分野におけるサービスマネジメントについて				
9	学修のポイント④ 福祉サービスにおける苦情対応とリスクマネジメントについて				
10	学修のポイント④ 福祉サービスにおける苦情対応とリスクマネジメントについて				
11	学修のポイント⑤ 福祉サービスにおける人材の評価について				
12	学修のポイント⑤ 福祉サービスにおける人材の評価について				
13	働きやすい労働環境の整備・これからの福祉運営				
14	科目終了試験 対策				
15	科目終了試験				
	期末テスト				
成績評価	出席率	30点 80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 レポート・学修のポイントのメチは厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 中枢Ⅲ (高次脳機能障害、認知症)	授業 形態	講義・ <b>演習</b> ・実習	学科・年次	PT・3年
				曜日・時限	木1
担当教員	後藤洋平、平間亮				
授業概要	脳の機能は運動や感覚の機能を司るだけではなく、記憶、注意、判断といった考えること、さらに話したり聞いたり、怒り、喜びなどの感情も脳の機能です。脳が損傷すると、たとえ麻痺がなくても、記憶・注意・判断・理解力や発語に影響が出て人間関係が損なわれてしまうことがあります。それらを理解し良好な人間関係を構築できる知識を習得しましょう。				
学習目標	①脳動脈と脳血管障害による症状と治療方法を理解する。 ②脳の障害によって心身にどのような影響がでるのか理解する。 ③障害において適切な評価を行うことができ、コミュニケーションをとることができる。				
回数				担当教員	
1回目	片麻痺患者の起居・起立・移動動作、運動麻痺の評価(BRS、SIAS)			後藤、平間	
2回目	姿勢定位障害(pusher現象と側方突進)、姿勢バランス障害			後藤、平間	
3回目	脳梗塞(アテローム血栓性脳梗塞、心原性塞栓症、ラクナ梗塞、TIA、小脳梗塞)			後藤、平間	
4回目	脳出血、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、もやもや病、頭蓋内圧亢進、脳ヘルニア			後藤、平間	
5回目	評価(図形模写、線分2等分・末梢テスト、横書き文の読み、MMSE、HDS-R)			後藤、平間	
6回目	小テスト、まとめ①			後藤、平間	
7回目	脳の構造と機能、高次脳機能障害、脳の可塑性とリハビリテーション			後藤、平間	
8回目	身体失認、病態失認(身体片側の忘却と不使用、半側身体の喪失感)			後藤、平間	
9回目	半側空間無視(空間性注意、空間認知)			後藤、平間	
10回目	観念失行、観念運動失行、失語症(ブローカ、ウェルニッケ)、読み書きの障害			後藤、平間	
11回目	注意・遂行機能・精神・知能障害			後藤、平間	
12回目	半側空間無視を伴う脳卒中片麻痺の症例検討			後藤、平間	
13回目	レポート作成(高次脳機能障害の症例と家族へどのように接するのか)			後藤、平間	
14回目	小テスト、まとめ②			後藤、平間	
15回目	総復習			後藤、平間	
教科書及び 参考書	病気がみえるVol.7脳・神経 講義配布資料				
成績評価	定期試験(60%)、小テスト2回(30%)、レポート1回(10%)出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
脳血管疾患の代表的な評価が多く学びます。それらは国家試験はもちろん、臨床の現場でも利用されるケースが多いです。また原因病巣からの症状を理解せずには症例、症例の家族、病院内スタッフとコミュニケーションをとることは困難です。脳は目に見えない部分でイメージがつきにくいかもしれませんが、わからないままにせず質問しかいけつていきましょう。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
病院、クリニック、デイサービス、訪問リハビリテーション等で働いた経験から得た知識を活かし、教科書の知識だけでなく、実際の臨床ではどのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていきます。					

2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 整形 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	理学療法学科 3年
				曜日・時間	木曜日 2限
担当教員	後藤 洋平				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整形外科の基本的な知識を整理しながら、理学療法士としてのリハビリテーションの方法(運動器疾患に対する)を学ぶ。</li> <li>・実際の運動器疾患に対する評価方法を実技を用い学ぶ。(基本的な評価法を理解し運動器疾患に応用する)</li> <li>・疾患別の運動器疾患に対する治療を学ぶ。</li> </ul>				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 整形外科疾患の病態の理解を行う。</li> <li>2. 整形疾患に対するリハビリテーション全般の整理を行う。</li> <li>3. 運動器疾患に対する評価を学ぶ。</li> <li>4. 運動器疾患特有の運動療法を学ぶ。</li> <li>5. 実習で実施できる基本的な評価・治療をみにつける。</li> </ol>				
回数		担当教員			
1回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)①	後藤 洋平			
2回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)②	後藤 洋平			
3回目	運動器の基礎理論 (運動の原則、病態、組織の損傷と修復)③	後藤 洋平			
4回目	運動器の評価(医療面接、急性期の評価、四肢体幹反測定、検査結果の解釈)	後藤 洋平			
5回目	運動器理学療法の治療(総論、筋機能障害、疼痛管理等)②	後藤 洋平			
6回目	小テスト①(講義:1~5回) まとめと振り返り	後藤 洋平			
7回目	変形性膝関節症(評価、リスク管理、目標設定、治療等)①	後藤 洋平			
8回目	変形性膝関節症(評価、リスク管理、目標設定、治療等)②	後藤 洋平			
9回目	大腿骨近位部骨折(評価、リスク管理、目標設定、治療等)①	後藤 洋平			
10回目	大腿骨近位部骨折(評価、リスク管理、目標設定、治療等)②	後藤 洋平			
11回目	小テスト②(講義:7~10回) まとめと振り返り	後藤 洋平			
12回目	脊椎椎体骨折(評価、治療、保存療法、術後理学療法)	後藤 洋平			
13回目	関節リウマチ(評価、治療、保存療法、術後理学療法)	後藤 洋平			
14回目	肩関節疾患(評価、治療、保存療法、術後理学療法) 上肢骨折まとめ	後藤 洋平			
15回目	小テスト③(講義:12~14回) まとめと振り返り	後藤 洋平			
教科書及び参考書	最新理学療法講座 運動器理学療法学				
成績評価	定期テスト70%、提出物・小テスト30% 欠席(-3点)、遅刻(-1点)、態度不良、および教科書、配布資料を忘れた場合は減点の対象とします。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>整形外科疾患(運動器疾患)は、実習にて対象となる最も多い疾患の1つです。また国家試験でも多くの関連する問題が出題されます。</p> <p>また、日常でも自身の痛みまたは家族の関節の痛みも理解できるようになります。問題がある関節に対し、医療機関で診断を受け、自身でもトレーニングし改善できる知識を身につけていただければと考えます。</p> <p>1月から始まる実習に対しても、知識を整理し、実習でもスムーズに実技が進められるよう集中して取り組んでいきましょう。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>整形疾患を呈した方のリハビリテーションにおける重要な視点は、基礎知識をリンクさせることです。整形疾患は小児から高齢者まで多くの年代の方が対象になり、小児やスポーツの分野等でも必ず必要な知識になります。しっかりと整形疾患に対する考え方を学んでいきましょう。</p>					

2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 内部障害 I (呼吸・嚥下・吸引)	授業 形態	講義 <b>演習</b> 実習	学科・年次	PT・3年次
				曜日・時限	木3
担当教員	平澤勉、平間亮				
授業概要	呼吸の正常な生理学や運動器の機能解剖から呼吸器の成り立ちを学び正常の機能や数値を理解して、呼吸器疾患の概要を理解することで、実際の患者さんへどのように理学療法を展開することができるのかを学ぶ。 治療を立案するにあたり、身体機能検査の方法や、特殊機器でのより実践的な評価の実施方法を学びより具体的な理解ができるようにする。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 呼吸の解剖・生理・運動学を理解できる。</li> <li>2. 呼吸器疾患の評価を理解する。</li> <li>3. 各種の呼吸器疾患の理論と技術を理解する。</li> <li>4. 実技の概要を理解・実施する。</li> <li>5. 近年出題されている国家試験の概要を理解できる。</li> </ol>				
回数					担当教員
1回目	呼吸・循環・消化の解剖学・生理学の復習				平澤・平間
2回目	呼吸器の構造と呼吸調節機能:呼吸の構造・肺循環・呼吸調節機能のメカニズム				平澤・平間
3回目	呼吸機能評価の意義と方法①:スパイロメトリー・スパイログラム・フローボリューム曲線				平澤・平間
4回目	呼吸機能評価の意義と方法②:呼吸筋力・呼吸困難感・視診・触診・打診				平澤・平間
5回目	呼吸機能検査:運動負荷試験・心肺運動負荷試験・血液ガスと呼吸機能について				平澤・平間
6回目	小テスト①、まとめ				平澤・平間
7回目	呼吸機能検査:動脈血酸素分圧・酸素飽和度・酸塩基平衡について				平澤・平間
8回目	慢性閉塞性肺疾患の病態・診断・治療・画像所見・理学療法について				平澤・平間
9回目	気管支喘息、肺水腫、間質性肺炎の特徴と治療・画像・理学療法について				平澤・平間
10回目	肺結核症・外科手術後・睡眠時無呼吸症候群について				平澤・平間
11回目	体位排痰法と胸郭可動域練習・徒手呼吸介助手技について				平澤・平間
12回目	人工呼吸器と気道内分泌吸引法・在宅酸素療法について				平澤・平間
13回目	小テスト②、まとめ				平澤・平間
14回目	呼吸器機器(スパイロメーター、パルスオキシメーター、呼気ガス、聴診器、吸引器など)				平澤・平間
15回目	総復習				平澤・平間
教科書及び 参考書	最新 理学療法講座 内部障害理学療法学 高橋哲也 医歯薬出版(株) 授業資料				
成績評価	定期試験(80%)、小テスト(20%) 出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>呼吸器疾患の理学療法は近年の国家試験の中でも非常に割合が増えてきている分野です。 1・2年生時に学んだ解剖・生理・運動学の内容をよく復習して講義に臨んでください。 呼吸器疾患は、内部障害の中で循環器疾患と代謝疾患との関連性が非常に強いので どれか1つだけを理解するというよりも、関連性を見つけてながら学習の方が理解しやすくなります。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>理学療法士として呼吸関連は疾患としてだけではなく、人工呼吸器などの離脱でも理学療法士が関与することが多くなってきています。 近年では病院でも理学療法士が気道内分泌物を吸引することが増えてきています。もちろん吸引ができないと症例は窒息で生命維持が困難になります。 生命に関わる知識ですのでしっかり勉強しましょう。</p>					

カウンセリング演習(2321)		平石 太一		併修科目・必修	
				PTOT3年	
				金曜1限	
授業のねらい	カウンセリングの理論は、医療、社会福祉、教育などの現場で幅広く活用・実践されている。そこで、カウンセリングとはどのようなものなのか、そしてカウンセリングに必要な技法や態度、心構えとはどのようなものなのか、基礎から学修していく。また、カウンセリングは比較的新しい学問領域であるため、いくつもの理論が存在しているが、その中でも基礎となる、精神分析、来談者中心療法、行動療法(認知行動療法)の三つを中心に学修していく。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	カウンセリングの歴史と課題について述べ、これからのカウンセラーに必要な資質とは何か述べよ。	清書	5月24日(金)	
	(ポイント)	助言指導・職業指導から始まったカウンセリングの歴史を概観し、その課題に迫ること。また、カウンセリングはどうあるべきかを考え、それはどういった訓練から作られていくのかを考察すること。			
	レポート 2	現代人の生活とカウンセリングについて考え、カウンセリングがどうあるべきかを述べよ。	清書	6月21日(金)	
	(ポイント)	現代の社会状況を捉え、何故カウンセリングが必要なのか、カウンセリングがどのような形で、どういったことに役立っているのか考察すること。			
	科目終了試験	学修のポイント1・交流分析について 学修のポイント2・クライアント中心カウンセリングについて 学修のポイント3・精神分析的カウンセリングについて		科目終了試験7月19日(金) 実施予定	
期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション				
2	カウンセリングが必要なとき				
3	自分を知る・相手を知る				
4	カウンセリングとは1				
5	カウンセリングとは2				
6	クライアント中心療法				
7	精神分析				
8	認知行動療法				
9	カウンセリングに関するさまざまな理論				
10	カウンセリングと現代の問題				
11	さまざまなクライアントに対する対応				
12	心の成長とは1				
13	心の成長とは2				
14	まとめ				
15	科目終了試験				
	期末テスト				
成績評価	出席率	30点 80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学修のポイントのA切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることであれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ (3400)		大兼健寛		併修科目・必修	
				PT・OT3年	
				金曜2限	
授業のねらい	ソーシャルワークの支援対象となる人たちが抱えている問題の複雑化・多様化に対応するため、地域共生社会の実現に向け、ソーシャルワーカーには、さまざまな実践が求められる。本科目では、総合的かつ包括的な支援の概念からその展開までを把握してもらい、さらに援助関係の形成方法や留意点、ネットワークの形成、社会資源の活用・調整・開発、カンファレンスその他、ソーシャルワークに関連する技法(ネゴシエーション、コンフリクト・レゾリューション、プレゼンテーションなど)についての理解を、多職種との関連も含めて理解することを目的とする。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	ソーシャルワークにおける援助関係の形成方法や留意点について述べよ。	下書		
	(ポイント)	①援助関係の形成方法と留意点について説明する。 ②援助関係形成におけるコミュニケーションとラポールの意義と方法について説明する。	清書	レポート締切 5月17日(金)授業内	
	レポート 2	社会資源の開発について述べよ。			
	(ポイント)	ジェネラリスト・ソーシャルにおける社会資源開発の捉え方について説明し、社会資源開発のさまざまな方法、社会資源開発に必要なソーシャルワーカーのスキルについて説明すること。	清書	レポート締切 6月28日(金)授業内	
	科目終了試験	学修のポイント・1 総合的かつ包括的な支援の考え方について 学修のポイント・4 ソーシャルワーク実践と社会資源の関係について 学修のポイント・6 ネゴシエーションについて	科目終了試験7月19日(金)実施予定		
	期末試験 スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	総合的かつ包括的支援とは？				
2	ソーシャルワークにおける援助関係の形成①				
3	ソーシャルワークにおける援助関係の形成②				
4	清書レポート作成				
5	学修のポイント・1 総合的かつ包括的な支援の考え方について/1250字レポート作成				
6	社会資源のソーシャルワーク的語義と意義				
7	社会資源の開発について①				
8	社会資源の開発について②				
9	社会資源の関係について③				
10	清書レポート作成				
11	学修のポイント・2 ソーシャルワーク実践と社会資源の関係について/1250字レポート作成				
12	学修のポイント・6 ネゴシエーションについて				
13	1250字レポート作成				
14	科目終了試験対策				
15	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ (3400)」科目終了試験(持ち込み不可)				
	期末試験				
成績 評価	出席率	30点 80%以上、出席すること。欠席-10点、遅刻は-3点。			
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	20点 レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学修のポイントのすべては厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることであれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				




2024年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	疾患別運動療法演習 整形Ⅲ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PTⅠ・3年次
				曜日・時限	金曜 3限
担当教員	水野 靖廣				
授業概要	脊損、切断は理学療法の対象疾患の一つとして、種々の角度からその対応が工夫されています。社会環境、福祉制度が整備されスポーツ復帰なども盛んになり社会参加も活発になってきました。脊損、切断の対象者は小児から高齢者まで様々であり多岐にわたる患者様に対応出来るよう本講義は、まず基礎知識である解剖から学んでいき、評価学、合併症、ADL指導、治療方法を学んでいきます。				
学習目標	①脊髄および脊髄周囲の解剖、機能を復習し、損傷高位とそれについての残存機能を理解する。 ③脊髄損傷についての理学療法評価、運動療法、移動補助具の適応を理解する。 ⑤切断の部位、名称を理解する。 ④切断の理学療法評価、ADL指導を理解する。 ⑤国家試験の出題範囲および内容を理解する。				
回数					担当教員
1回目	脊髄損傷の原因、年齢的推移などの概要、脊髄の解剖				水野 靖廣
2回目	脊髄の生理学 伝導路(上行路、下行路)、一次運動野の脳地図、一次体性感覚野の脳地図				水野 靖廣
3回目	完全損傷と不全損傷の病態、臨床症状について①(骨格筋の解剖、筋収縮、反射など)				水野 靖廣
4回目	完全損傷と不全損傷の病態、臨床症状について②、脊髄損傷の合併症(脊髄ショック、疼痛など)				水野 靖廣
5回目	脊髄損傷の合併症(異所性骨化、自律神経過反射、痙性、肩手症候群、脊髄空洞症など)				水野 靖廣
6回目	脊髄損傷の理学療法評価①(Frankel分類、Zancolli分類、ASIA、ストークマンデビル方式など)				水野 靖廣
7回目	脊髄損傷の理学療法評価② 調べ学習発表会、国家試験問題をを用いての知識共有				水野 靖廣
8回目	脊髄損傷の理学療法① 呼吸、排泄機能(排痰法、圧迫法、振動法、神経因性膀胱など)				水野 靖廣
9回目	脊髄損傷の理学療法② 治療指導(損傷髄節に合わせた車椅子、歩行補助具選定など)				水野 靖廣
10回目	脊髄損傷 確認テスト まとめ及び共有				水野 靖廣
11回目	切断総論(疫学、部位と名称、上肢・下肢切断部位と機能など)				水野 靖廣
12回目	切断理学療法評価(形態、断端、筋力、関節可動域、感覚、疼痛、パッチテストなど)				水野 靖廣
13回目	切断ADL(切断前後のオリエンテーション、生活管理指導、義足の特徴とADL指導など)				水野 靖廣
14回目	切断 確認テスト まとめ及び共有				水野 靖廣
15回目	定期試験対策及びまとめ				水野 靖廣
教科書及び参考書	PTマニュアル 脊髄損傷の理学療法 武田 功編著 PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 第1版 高田 治実監修 PTOTST 義肢装具学 佐伯 覚編集				
成績評価	定期テスト80%、確認テスト20%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
①積極的に講義に参加すること。 ②基礎理論は解剖学・生理学・運動学・病理学の既履修内容を復習しておくこと。 ③調べ学習及び発表も実施します。自主性を持って参加すること。 ④脊髄損傷、切断は国家試験に頻発する科目です。集中して取り組むこと。 ⑤講義内容は理解度に合わせ適宜変更する場合があります。その際は事前に周知します。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
理学療法士として整形外科で実務経験がある教員が、脊髄損傷、切断ともに基礎科目である解剖学、生理学から講義します。基礎を理解してから自律神経過反射や異所性骨化、脊髄ショック、拘縮などの合併症、ブラウンセカール症候群や脊髄空洞症などの評価、病態を解説していきます。 また、講義内にて確認テストを実施します。この確認テストは成績評価の一部となりますので普段からの授業を大切にしてください。					

2024年度 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	評価実習事前・事後指導	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次 曜日・時限	PT I 3年 不定期
担当教員	村田 薫克・水野 靖廣・後藤 洋平・平間 亮・平澤 勉・笠原 靖子 (PT専任教員)				
授業概要	本講義では評価実習に向けて症例レポートの作成方法から学び、実際に実施してその結果をまとめて形にすることを学びます。そこで、各疾患についての基本知識に始まり、それに合わせた評価方法の選択・実施から結果の考察についての一連の流れを学びます。				
学習目標	1.評価実習に対して基本的な心構えを理解する。 2.評価実習に必要な知識や評価技術を学ぶ。 3.評価実習中やこの講義において学んだことを形にすることができる。				
回数					担当教員
1回目	症例レポートのスケジュール・流れの説明				笠原 靖子
2回目	症例レポート① 基礎・医学情報について 理学療法評価について				笠原 靖子
3回目	症例レポート②-1 理学療法評価について 各評価の意義を考える				笠原 靖子
4回目	症例レポート②-2 理学療法評価について 姿勢・アライメント観察、動作観察について				笠原 靖子
5回目	症例レポート③ 問題点・統合と解釈について 症例レポート課題の提示				笠原 靖子
6回目	課題範囲① 確認小テスト クエスチョンバンク課題範囲① 自己学習				笠原 靖子
7回目	課題範囲② 確認小テスト クエスチョンバンク課題範囲② 自己学習				笠原 靖子
8回目	課題範囲③ 確認小テスト クエスチョンバンク課題範囲③ 自己学習				笠原 靖子
9回目	課題範囲④ 確認小テスト クエスチョンバンク課題範囲④ 自己学習				笠原 靖子
10回目	評価実習に向けた評価実技① OSCE				笠原 靖子
11回目	評価実習に向けた評価実技② OSCE				笠原 靖子
12回目	評価実習に向けた評価実技③ OSCE				笠原 靖子
13回目	評価実習に向けた評価実技④ OSCE				笠原 靖子
14回目	評価実習後のお礼状の作成やまとめ①				PT専任教員
15回目	評価実習報告会①				PT専任教員
16回目	評価実習報告会②				PT専任教員
17回目	評価実習報告会③				PT専任教員
18回目	就職について①				笠原 靖子
19回目	就職について②				笠原 靖子
20回目	就職について③				笠原 靖子
教科書及び参考書	クエスチョンバンク 共通問題 臨床機能と OSCE クエスチョンバンク 専門問題				
成績評価	・QB小テスト(40%)、筆記試験 基礎3科目(30%) 課題症例レポート報告会(30%) ・遅刻1回-1点、欠席1回-3点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
見学実習は主に理学療法士の業務形態や職域、医療機関の雰囲気など見学を中心に学んできたと思います。評価実習では学生が患者様に触れ評価し問題点を抽出し適切なアプローチを立案する能力が求められます。見学実習と比較し、到達目標が高くなっていますので受動的ではなく能動的に集中して講義に参加して下さい。					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
評価実習に向けて実習の意義、レポート作成の方法、基礎知識の構築、理学療法士としてのマナーの習得、評価技術の向上を図ります。					

2024年度前後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	評価実習	授業形態	講義・演習 	学科・年次	PT I・3年次
				曜日・時限	実習施設にて調節
担当教員	村田 薫克、水野 靖廣、後藤 洋平、平間 亮、平澤 勉、笠原 靖子 (PT専任教員)				
授業概要	・評価実習は、診療録等からの間接的な情報収集や対象者への直接的な情報収集(検査・測定)を通じて、対象者への状態等に関する評価を実施します。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる。(理学療法の対象者との関係性構築)</li> <li>・職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員としての自覚のある言動をとることができる。(チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割)</li> <li>・理学療法の流れを理解するとともに、臨床内容の意義を理解して説明をすることができる。(理学療法プロセスの理解)</li> </ul>				
時期	内容			担当教員	
実習前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識、技術、態度の確認を学校内で行うことにより、実習に必要な能力の到達度を確認する。</li> <li>・実習前OSCE</li> <li>・確認テスト</li> </ul>			PT専任教員	
実習中	<p>1. 実習期間 2025年1月14日(火)～2025年2月22日(土) ※評価実習の時間数:200時間</p> <p>2. 実習の概要 ・上記授業概要を含め、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型実習が望ましく、様々な疾患・状態の対象者に対して基本的な検査・測定等を適切に実施することを学びます。さらに、得られた情報から障害像を考え、課題解決に向けた仮説を立てる過程を学びます。</p> <p>3. 実習目標 ・対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる。 ・職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員としての自覚のある言動をとることができる。 ・理学療法の流れがわかり、臨床内容の意義を理解して説明をすることができる。</p>			臨床実習指導者	
実習後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習報告会を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習で学んだことをまとめ発表することで知識を整理し理解する。</li> <li>・知識を共有することで、様々な分野の情報を得る。</li> </ul> </li> <li>・お礼状の作成等</li> </ul>			PT専任教員	
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の手引き</li> <li>・実習関連資料</li> </ul>				
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前OSCE:40% 確認テスト(外部模試):30% 実習後レポート報告会:30%</li> <li>・減点項目:出席率(遅刻・欠席ともに3点/1日)、実習態度、提出物等</li> </ul>				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>評価実習は、初めての長期実習になります。この評価実習では各施設において、患者さんに対して実際に評価を実施する実習です。今までに経験したことないようなリハビリテーションの奥深さを体験できます。実習目標にもあるように、対象者や施設のスタッフの方たちとよい関係を築きながら、職場における理学療法士の役割からこれから皆さんのなる理学療法士という職業の責任と必要な知識を学ぶことができます。</p>					
(実務経験のある教員による授業科目の場合)どのような経験を持ち、どのような授業を行うか。					
<p>評価実習は私も体験しましたが、初めて公的な場所で約1か月の間を患者さんと接します。その緊張とプレッシャーはこれまでの見学実習とは比べ物にならないほど大きいですが、その分、理学療法士としての知識やスキルは今後、理学療法士になった時の基礎的な部分に大きな影響を与えるほど貴重な経験となります。</p>					